

○ 調査の目的と結果の利用

1 調査の目的

主要家畜の飼養戸数、頭羽数、品種など、その規模別分布等を把握し、道内の家畜の改良増殖や畜産行政に係る施策の推進に資することを目的とし、道内179市町村の協力を得て実施した。

なお、調査基準日は令和5年2月1日現在としている。

2 調査結果の利用

道内179市町村より得た調査結果をもとに、総合振興局及び振興局別に区分し、農政部生産振興局畜産振興課調べとして整理した。

なお、調査の結果から対象数が3未満の場合には、秘密保護の観点から、該当結果を「X」表示とする秘匿措置を実施した。

また、全体（計）などからの差し引きにより該当結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「X」として整理した。

3 その他

本調査は北海道が道内179市町村の協力のもと独自に行っている調査であり、農林水産省が実施する統計調査の数値等とは一致しない。